

令和5年度自治体等FM連絡会議福島県地域会の開催報告

福島県地域会

代表幹事 福島県総務部財産管理課

1 地域会講演について

令和5年10月25日（水）Web会議システム「Zoom」を活用し、リモート会議において講演会を開催し、福島県内の9の自治体から15名の方に参加いただきました。

地域会では、有識者による講演後、リモート会議に参加した自治体職員と質疑応答・意見交換を行い、公共施設の今後の在り方についてより一層の理解を深めました。

(1) 【演題】「試行錯誤しながら進める沼田市FM+PPP」

【講師】沼田市教育部教育総務課 副主幹 戸部 隆之 氏

沼田市のファシリティーマネジメント施策に関するPPP（公民連携）手法優先導入について戸部様の体験に基づいた内容のご講演をいただきました。

随意契約保証型の民間提案制度により、市役所跡地問題等、様々な困難を乗り越えて市街地活性化事業として採用したこと。また包括施設管理業務委託の導入に関してテラス沼田を例にあげ詳細に説明していただきました。その他の公共施設を含め包括施設管理の結果として

1. 予算確保や執行管理、小修繕業務を含んだ、事務コストの大幅削減
2. 専門的視点による施設等巡回を取り入れた、施設管理の質の向上
3. 施設全体の状況の一元的な把握
4. 市内事業者の受注割合が4割から5割に増加
5. 修繕予算の効率的運用
6. 建物診断（ドローン等による）に民間ノウハウの活用

などの効果があったことを教えていただきました。

その他のFMの取組として、使用しなくなった自動車やピアノ等をオークションで売却、空きスペースを有効活用し自販機等を設置、旧給食センターの物品を売却、ネーミングライツや広告等を募集するなど、ムダをなくして稼ぐという認識で多方面に渡り取り組まれていました。また、解体予定の公共施設を使用し、床に穴を開けたりするという通常ではできないような消防訓練を行ったという事例は、解体を予定している自治体には有効活用例として大変参考になりました。

(2) 質疑応答・意見交換

戸部様と自治体職員で、講演に関する質疑や自治体が抱える悩みについて意見交換を行いました。質疑では、公民連携などに関する庁内の合意形成について意見が出されました。

戸部様からは他自治体の例も含めた様々なアドバイスをいただき、本地域会を通じて意見を交わせたことは、参加者にとって有意義なものとなりました。

2 地域会審議について

令和6年度の活動計画及び幹事選任の議案について、各地域会員への書面開催により審議を行いました。審議の結果、令和6年度の幹事には、〇〇〇市が選任されました。

今後も福島県内の自治体等FM関係者との情報交換や交流の場を設け、会員相互の連携強化を図りながらより一層活発になるよう活動して行きます。

3 おわりに

ご講演いただいた沼田市教育総務課の戸部様、福島県地域会に参加された方々、一般財団法人建築保全センターの関係者の方々、令和5年度幹事を務めていただいた南相馬市関係者の方々に厚く御礼申し上げます。